

やりたい事は
ぜんぶやればいい。

最先端がある、



RECRUITMENT INFORMATION

SCREEN

RECRUITMENT INFORMATION

SCREEN

最先端の、さらに先へ。 SCREEN FUTURE STORY

—— SCREENが支える未来の話 ——

1868年、明治のはじまりとともに京都に小さな印刷所が誕生しました。
その研究部門はやがて、写真製版用ガラススクリーンの国産化に成功し、ベンチャー企業として独立。
その後、印刷関連機器、プリント基板関連機器、半導体やディスプレイの製造装置で世界的なシェアを確立し、さらには、ICTソリューションやライフサイエンス、エネルギーの領域まで、
今もずっとチャレンジ精神を持ちながら、次々と事業・技術を広げています。
私たちの名前は、SCREEN。
「最先端」で、未来を支える会社です。

飛行機

100万点以上の部品でつくられる飛行機。安定飛行を支える電子部品づくりにもSCREENの技術が生かされています。

医療機器

がんの創薬研究や再生医療研究に向けた細胞スキャナー、鋭剤に文字を印刷する技術など、医療分野にもチャレンジしています。

クルマ

クルマを構成する数万点の部品。その品質を見極める自動検査をはじめ、SCREENの技術は自動運転にも生かされようとしています。

ドローン

高画質を実現するイメージセンサーから、安定飛行を支える半導体まで、多くの製造に貢献しています。

スマートフォン

スマートフォンに欠かせないディスプレイや半導体の製造も支えるSCREEN。将来、5Gやウェアラブルデバイスへの展開も期待が高まります。

水素

次世代を担うエネルギーとして注目されている「水素」。燃料電池に活用される技術をはじめ、地球にやさしいエネルギーの普及を支えています。

広告

駅構内や電車・バス内で多くの人の目に触れる広告。その印刷に用いられるデジタル印刷機の開発もSCREENが手がけています。

PC

液晶や半導体、プリント基板など、PCを構成する多くの電子部品の製造に、SCREENの技術が生きています。

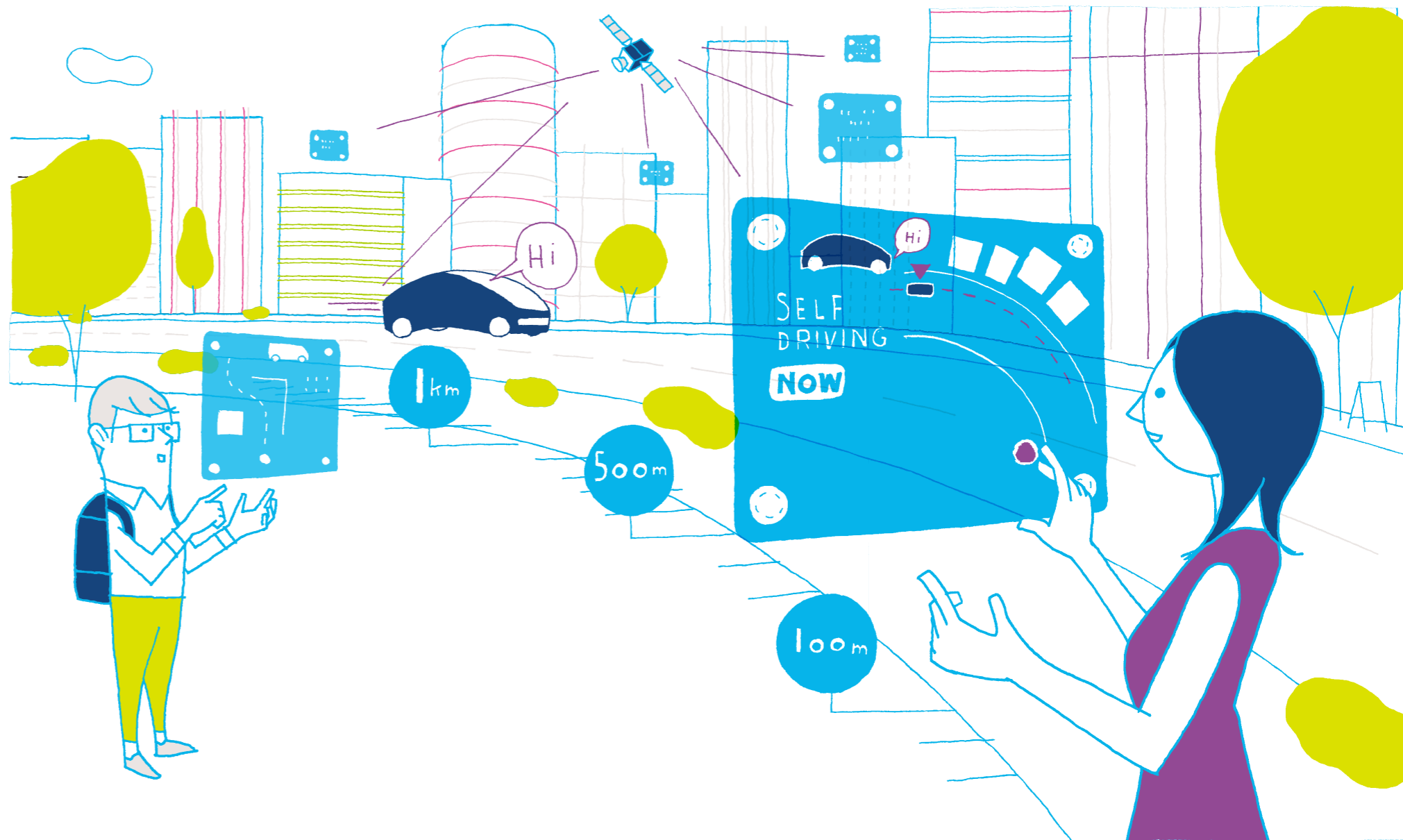
01

病気などで機能を失ったとしても、自己再生能力を活性化することで失われた機能を回復させることができれば。

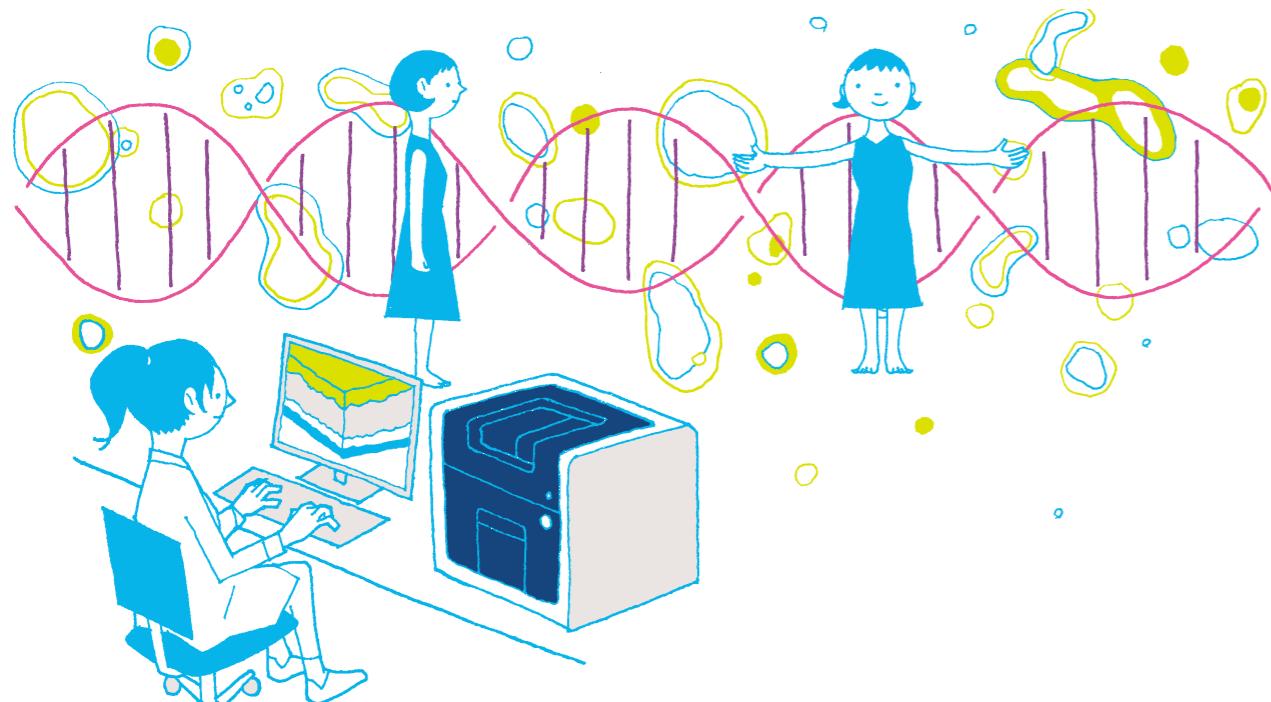
医療の進んだ未来に再生医療が実現できるよう世界各国で先進的な治療や研究開発が進んでいます。そのうちiPS細胞など幹細胞や体細胞をつかった再生医療では、体外で培養した細胞を治療に生かす研究がなされています。そんな研究を支えるのが、SCREENの「細胞スキャナー」。例えばたくさんの細胞を培養する際、その品質をどのように管理していくのかという問題が重要になります。細胞スキャナーは、細胞にとってダメージの少ない撮影方法で、これまでは難しかった“生きたままの細胞”を観察し、3次元細胞培養された組織を計測することができます。より安心・安全な再生医療の実現を目指して、SCREENはライフサイエンスという新しい領域へと挑んでいます。

くすりの梱包も、技術のちからで安心に。

高齢化によって、複数のお薬を同時に服用する人が増え、薬の“一包装”というニーズが生まれてきました。お薬を包装から出して一包装する時、間違いを防止するためにお薬に“目印”が必要になります。そこでSCREENが考えたのは、「インクジェット技術」を応用した錠剤そのものへの印刷です。錠剤は小さく、非常にデリケート。吸着技術を駆使して、丸形・楕円型などさまざまな錠剤のかたちに合わせ、医薬品名や含有量の印刷を施しています。さらに、お薬の包装に必要な使用期限などの情報も、正確に印字することが可能。SCREENの技術は、医薬品の正しい服薬にも生かされようとしています。



【この未来をつくらしている会社は?】
株式会社SCREEN ホールディングス



02 世界シェアNo.1※ 半導体製造を支える洗浄技術が、 世界の進歩を加速させていく。

6Gによってあらゆる情報が社会に溶け込んだ未来では、現実とデジタルが融合して、実際に目の前にいるような感覚で世界中の人や物、体験にアクセスできたり、自動運転が当たり前になり、交通事故という言葉が過去のものになったりしているかもしれません。そんな社会をかなえるコアデバイスが、半導体です。SCREENは半導体製造装置のリーディングカンパニー。千にものぼる半導体の製造工程のうち、約3割を占める重要な工程が「洗浄」です。除去が必要なゴミや汚れはナノレベルで、300mmウエハーを野球場に例えると、そのグラウンドに落ちているたった一粒のスギ花粉サイズのゴミや汚れさえも見つけ出し、正確に取り除く高い精度が求められます。SCREENは、世界シェアNo.1の洗浄技術力で、半導体の進化を支え、世界の進歩に貢献していきます。



【この未来をつくらしている会社は?】
株式会社SCREEN セミコンダクターソリューションズ

※Source : Gartner, Market Share: Semiconductor Wafer Fab Equipment, Worldwide, 2021, Bob Johnson et al., 7 April 2022
Revenue from Shipment of Single Wafer Processors, Worldwide 2021.
洗浄装置 = Single Wafer Processors



04

次は、どんな未来を映し出そう？
どこにもない新技術で、
多様なディスプレイづくりを支える。

クリスマスになると、ビルに巨大なクリスマスツリーが映し出されて街行く人を驚かせたり、公園のベンチで新聞紙のようにディスプレイを広げたり、自動車が家族だけのプライベート映画館に早変わりしたり。すこし未来を見渡すと、街の至るところでディスプレイが暮らしを彩っています。SCREENは、世界シェアNo.1の「TFTアレイ用コーターデベロッパ」をはじめ、薬液を高速かつミクロンレベルで均一に塗布できる技術で、世界各国のディスプレイ製造を支えています。高い均一性があるからこそ、多種多様なディスプレイに貢献できる。次は、どんなディスプレイが、どんな未来を映し出すのか。私たちのチャレンジに終わりはありません。



水素をつくる、はこぶ、つかう。
燃料電池を動かすのは、
人の想像力と技術力。



「昔はガソリンスタンドという建物があったんだよ」「何それ？はじめて聞いた」いま乗っている車のエネルギーは、もちろん「水素」。街のあちこちにある水素ステーションで、いつでも補給できます。自動車だけではなく、街の暮らしはすべて再生可能なエネルギーで成り立っていて、CO₂排出量は限りなくゼロへ。これはSCREENが目指す、すこし先の街の未来像。そのために、水素を「つくる、はこぶ、つかう」工程を技術の力でサポートしていきます。たとえば、「つくる」分野では「水電解セルスタック」の開発を通じて、「つかう」分野では、燃料電池製造装置「RTシリーズ」で、地球にやさしいエネルギーの普及に貢献しようとしています。

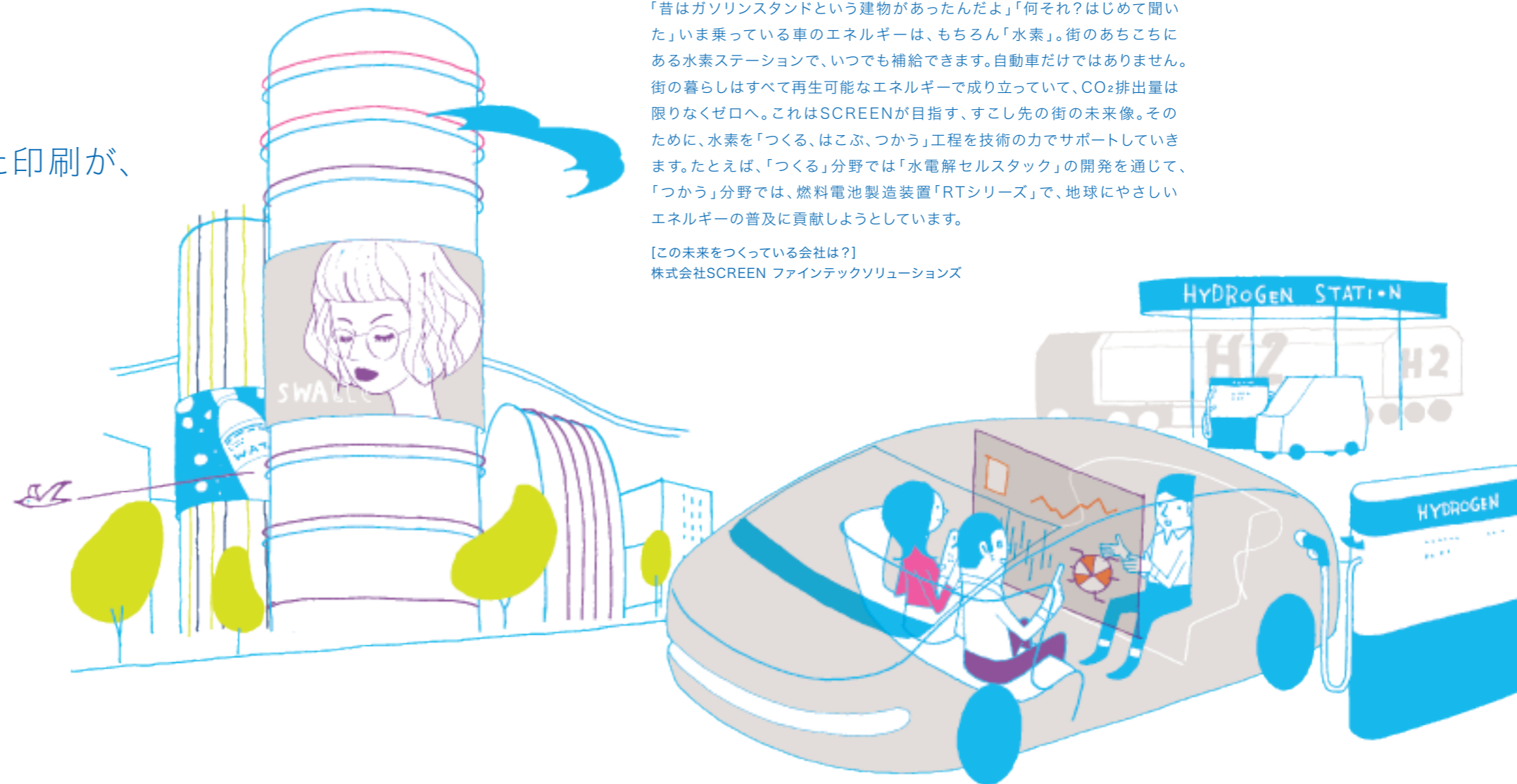
[この未来をつくっている会社は？]
株式会社SCREEN ファインテックソリューションズ

03

一人ひとりに手紙を書くように、
技術のちからで、パーソナライズされた印刷が、
心をいきいきと動かしていく。

毎日、メールやチャットでいろいろなメッセージが届くけれど、手ざわり感のある郵便物はすこし特別。しかも、そこに書かれたメッセージや情報が「今日の気分ぴったり!」というものだったら、なおさら心が弾んでいく。すこし未来の印刷技術がかなえるのは、人の心をいきいきと動かす、フレッシュなコミュニケーション。生活者のニーズや購買履歴に合わせて内容を変えられる「パーソナライズ印刷」や、必要な時に必要なだけ印刷できる「ジャストインタイム生産」をはじめ、SCREENは、最先端の印刷技術と情報処理技術で、人と人、人と自然がつながる豊かなコミュニケーションを創造していきます。

[この未来をつくっている会社は？]
株式会社SCREEN グラフィックソリューションズ



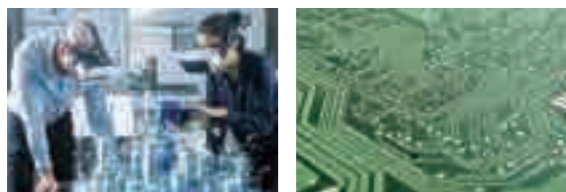


05

ウェアラブルや、スマートデバイス。
いくつもの未来の花を、
技術という大地が支えている。

今日は、海外にいる友人の結婚式。眼鏡型のウェアラブルデバイスをつければ、まるでその場にいるように懐かしい友だちと談笑したり、パーティーの余興と一緒に楽しんだり、手ざわりのあるコミュニケーションが友情をつないでくれる。これは、すこし未来のコミュニケーションのかたち。その舞台裏では、微細な「プリント基板」が大きな役割を担っています。SCREENは、プリント基板の製造工程において、露光装置や検査装置をはじめとする装置やサービスを提供。「3波長LED光源」を自在にコントロールし、より繊細な露光を可能にすることで、5Gやスマートデバイスなど、多様な電子機器のニーズを支えています。暮らしを彩るサービスや製品が「花」だとしたら、プリント基板はそれを育むために不可欠な「大地」。私たちはこれからも、社会の大きな「基盤」をつくっていきます。

【この未来をつくっている会社は？】
株式会社SCREEN PEソリューションズ



06

AIの開発は、
人を育てるのに似ている？
今日も、いっしょに勉強中です。

「あれ？ボクちょっと調子が悪いかも。念のため、見てほしいな」「教えてくれてありがとう。おや？確にかすかな異音があるぞ」これは、少し未来の、機械を見守るAIと人のコミュニケーション。装置を受けもつAIが自分から異変や故障の予兆を見つけてアナウンスを出すことで、「壊れない装置」の実現も夢ではなくなります。その未来に向かって、SCREENの社員たちとAIは、今日もいっしょに勉強中。数値データからだけでなく、日本語や英語の文章からも情報を取り出すことで、より深いラーニングを目指しています。

【この未来をつくっている会社は？】
株式会社SCREEN アドバンスドシステムソリューションズ



JOB DESCRIPTION

職種紹介



研究・開発

新しい技術と事業を育む“未来の開拓者”

1 未来を見据えた要素技術の開発

思考展開の精神をもとに、一步先の未来を見据えて、5年後、10年後にSCREENの新たな事業となるような要素技術の開発を進めています。

2 コア技術を応用・展開し事業化を目指す

SCREENにはさまざまな専攻・背景を持った技術者が多くいます。そのような技術者たちが日々協力し、要素技術の確立、事業化を目指します。

3 既存事業の発展をバックアップ

既存事業が将来に向けた社会のニーズに対応できるよう、次世代技術の開発支援を行い、さらなる事業の発展に貢献します。



先輩社員の一言

今後の発展が期待されている分野でスペシャリストの方と一緒に仕事ができ、全く新しい考え方に会えることができます。

(2020年入社 S.T.)

各事業会社の装置開発に対し、事前評価やメカニズム説明などシミュレーションを使った開発援助を行っています。さまざまな装置の開発に携わるチャンスがあり、技術者としての視野を広げられます。

(2017年入社 T.K.)



プロセス
エンジニア

あらゆる工程に携わる“開発のキーマン”

1 高品質な装置プロセスの実現

多方面の専門領域を生かしながら実験や検証、シミュレーションを重ね、装置の性能や生産性を最大限に引き出します。常に先を見据えて最先端技術の開発に取り組みます。

2 他部門と連携し、装置開発

装置開発のキーマンとして、お客様のプロセスにおける課題を抽出し、解決を図ります。お客様とのコミュニケーションや、他の技術者との連携など、技術力だけでなく、他者を巻き込む力も必要です。

3 納入後のサポートで、さらなる性能向上

納入後も定期的にお客様にヒアリングを実施するなど情報収集を行うことで、新たなニーズをくみ取り、次世代の装置開発につなげます。



先輩社員の一言

シミュレーション技術を駆使し、試作を行う前の構想段階から製品開発に携わります。製品開発の初期段階から自分のアイデアを反映させることで、設計費等の削減や装置トラブルの回避につなげることができます。

(2016年入社 H.T.)

最終的なプロセス性能を決めるのはプロセスエンジニアだと思っています。自分の評価したプロセスデータによって装置の方向性が大きく変わることになるので責任ある仕事です。

(2017年入社 K.T.)



設計

性能・品質を支える“多彩なスペシャリスト集団”

1 大型装置の機構をつくる機械設計

装置の要となる、機械設計。周囲と連携しながら装置機構の仕様を検討し、半導体製造装置をはじめとした大型装置を設計します。

2 装置全体の品質を担う電気設計

装置全体の構想設計から各部位ごとの機能設計まで、幅広く担う電気設計。安全かつ安定した装置の稼働を支えます。

3 ソフト／ハード両面から装置の中核を担うソフト設計

装置に新たな価値を生み出すソフト設計。アルゴリズム等の組み込みソフトだけでなく、ロボット制御等のハード面のシステムについても設計・開発・検証を自社で行います。



先輩社員の一言

技術者として装置製作に携われることで、ゼロから新しいモノづくりにチャレンジすることができます。

(電気設計／2016年入社 Y.U.)

自分が設計した製品の反響を通して、お客様の存在を身近に感じながら業務に取り組めるところが魅力です。

(機械設計／2015年入社 T.A.)



製造

世界一の品質を生み出す“モノづくりの最前線”

1 モノづくりの現場を支える

メーカーの肝となる製造。資材調達から生産・工程管理、出荷まで担い、製品品質の担保と向上を実現させます。

2 装置に寄り添い、顧客満足度の向上

装置を製造・出荷した後も、不具合が発生した際の原因追及や、改善提案を行うなど、顧客満足度の向上に努めます。

3 最先端技術を用いたFAの実現

AIやロボットなど最新技術を駆使し、工場の自動化を実現。生産リードタイムの短縮を図り、最新装置をタイムリーに世界中に届けます。



先輩社員の一言

億単位の高額な製品の工程を自分で決め、さまざまな課題をクリアしながら無事に出荷までやり遂げられたときは、大きな達成感を感じます。

(生産管理／2018年入社 T.M.)

装置組立に直に携わることができるため、自社装置のことは何でもわかります。

(製造／2016年入社 A.M.)

JOB DESCRIPTION

職種紹介



営業

最先端の装置を世界中に広げる“会社の顔”

1 世界中の顧客とビジネスを

世界中の誰もが知るグローバル企業と数億円単位の商談をすることもあり、世界シェアNo.1の立役者として活躍できます。

2 お客様のニーズと技術者を橋渡し

SCREENの製品は完全オーダーメイド。語学力を生かして、お客様と技術者を橋渡しすることで、技術者と共にモノづくりを支えます。

3 納入後も販売戦略を拡大

納入後もお客様と良好な関係を築き、投資計画などを把握することで、今後の販売戦略を拡大させます。



先輩社員の一言

装置価格や販売戦略を自分で考えていく中で、ロジカルな思考が鍛えられます。

(海外営業/2016年入社 T.O.)

現地法人とコミュニケーションを取って良い関係を築きながら、商談を円滑に進める方法を常に考えています。

(海外営業/2019年入社 R.C.)

(人事・総務・法務・経理・財務・マーケティング・経営企画・IT企画など)



管理部門

会社の方針を司る“ジェネラリスト”

1 グループ全体をマクロ的に舵取り

グループ7社に向けたコーポレートガバナンスを担い、人事・経理などあらゆる観点から経営の基本方針や戦略を決定します。

2 グループ会社ごとにビジネスを最適化

グループ会社ごとにも管理部門が存在します。事業ドメインに基づき、ヒト・モノ・カネを適切に管理し、事業戦略を立案・遂行します。

3 多岐にわたる活躍の場

マーケティングや環境経営、CSRまで、職種は多岐にわたり、文系理系を問わず活躍のチャンスが広がっています。



先輩社員の一言

会社が進む方向の軌道修正と、収益確保に日々取り組んでいます。経営の一端を担っているやりがいを感じます。

(事業計画/2019年入社 H.T.)

決算書などから刻々と変化する経営状況を把握できます。企業経営の根幹に近いところで働けるのが魅力です。

(経理/2020年入社 H.T.)



知的財産管理

技術網で企業価値を高める“知財戦略家”

1 特許を取得し、自社の財産を守る

最先端の技術をはじめとした自社の財産を守るために、グループ各社から情報を集め、特許の取得と権利化に努めます。

2 論理的思考力や文章構築力を駆使

特許の申請から取得までの過程で、公示技術との違いや自社技術の独自性を説明するための論理的思考が求められます。

3 知財戦略を立て、技術網を構築する

自社と他社の保有する技術を比較・分析し、今後の技術開発に向け新たな戦略を提案することで、自社技術の発展を促進します。



先輩社員の一言

技術の中には、将来的に自社の強みになり得るものが数多くあります。こうした技術を知って学ぶ過程そのものが面白いですし、さまざまな重要技術に関わりながら、会社の将来に貢献できることも魅力です。技術を自社に有利な権利として権利化できるかどうかは、担当者の腕にかかっているため、やりがいにもつながっています。

(2020年入社 K.F.)



AI・データ分析
エンジニア

まだ無い価値を見つけ出す“先進技術の探求者”

1 先進技術による付加価値の向上

AIやデータマイニングを駆使し、「自動制御」「予兆検知」「原因解析」など、装置のスマート化を推進します。

2 AI・ビッグデータを駆使した情報活用

AIを利用して装置から得られる膨大なデータの中から隠れた特徴やパターン情報を見つけ出し、効率的な問題解決を図ります。

3 先進技術を利用したアプリケーション提供

因果探索やAI自然言語理解などさまざまな先端技術を利用したアプリケーションで、世の中にソリューションを提供します。



先輩社員の一言

ハードウェア、ソフトウェアからも装置の質を向上できることが、この仕事の面白いところだと思います。

(2019年入社 K.H.)

日々勉強の毎日ですが、最先端の技術に触れながら新しいものを作っていけるのが、一番の魅力です。

(2017年入社 M.T.)

3つのコア技術、いくつもの未来。

SCREENグループは、「表面処理技術」「直接描画技術」「画像処理技術」という3つのコア技術をもとに、さまざまな要素技術を育み、可能性を広げてきました。印刷から半導体、ディスプレイ、プリント基板、ライフサイエンスまで、私たちがチャレンジする領域は、今も広がりつつあります。

洗浄・エッチング SPE FT

数十nmオーダーの微細パターンを高精度に洗浄・加工する半導体分野や、1辺2m以上の大型ガラス基板を処理するディスプレイ分野で培われた技術。

塗布・成膜 SPE FT

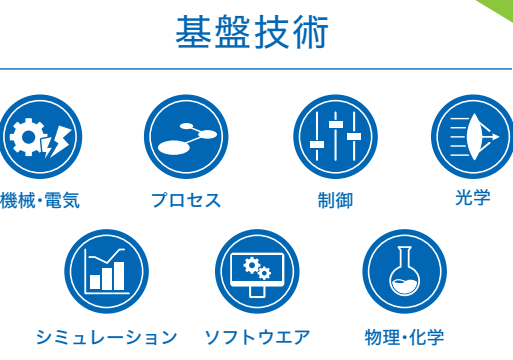
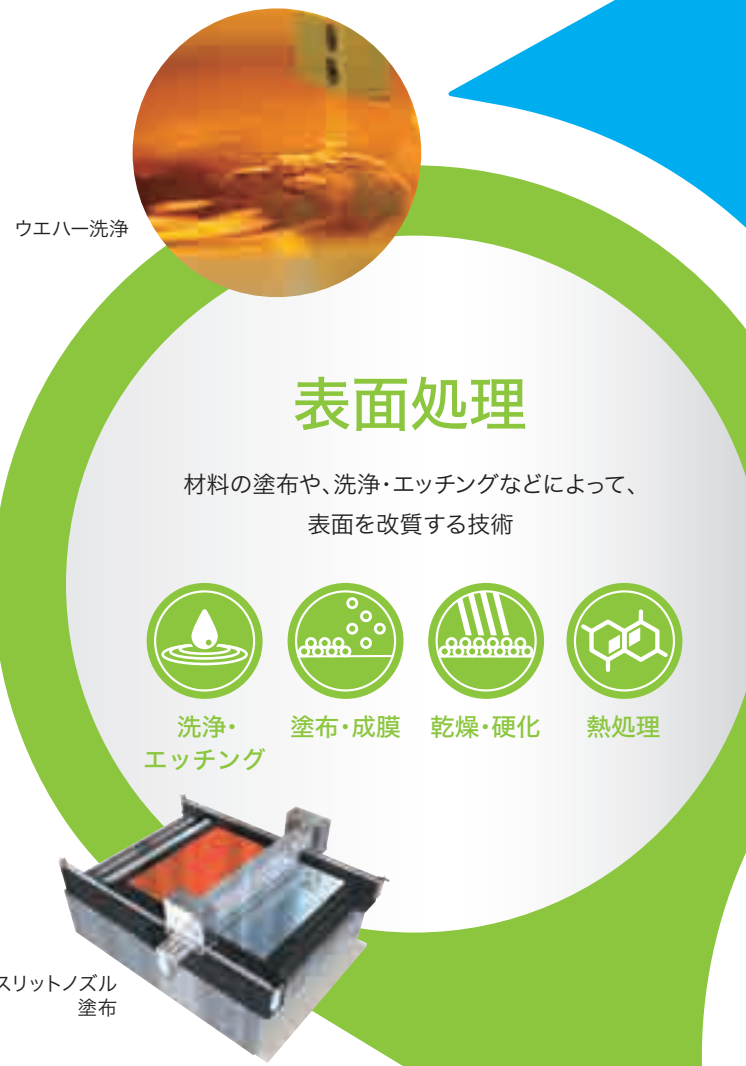
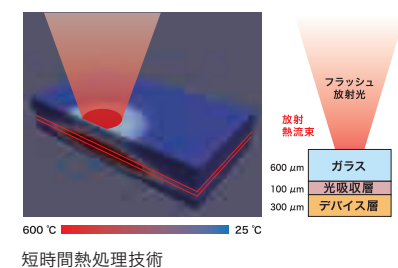
半導体基板やディスプレイガラス基板に薬液をミクロン～サブミクロンオーダーの厚さで均一に塗布する技術。固い基板からフィルムへの塗布まで多様な技術を有する。

乾燥・硬化 SPE FT

半導体では乾燥時に回路の電気性能や微細パターン構造にダメージを与えない技術を有する。塗布後の乾燥・硬化では膜厚・膜質を高精度に均一化できる。

熱処理 SPE

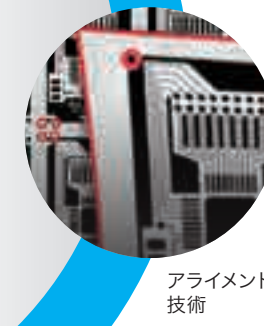
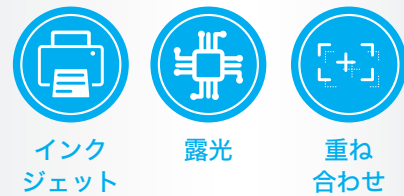
フラッシュやレーザーなどの光を用いて、基板表面を瞬間的に加熱する技術。急激な熱エネルギーを基板に与えることで半導体に優れた電気特性を与える。



HD:ホールディングス/SPE:セミコンダクターソリューションズ
GA:グラフィックソリューションズ/FT:ファインテックソリューションズ
PE:PEソリューションズ/AS:アドバンスシステムソリューションズ/IP:IPソリューションズ

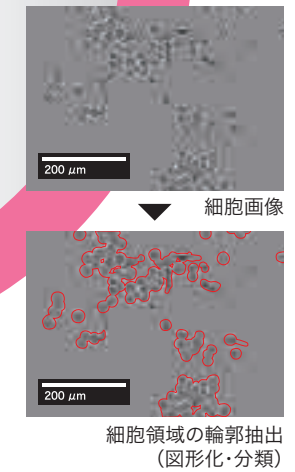
直接描画

レーザー露光やインクジェットを駆使して、ダイレクトに配線の回路パターンや絵柄を形成する技術



画像処理

画像データの修整、照合、変換などの処理を行う技術



インクジェット GA

インクジェットで直接基材(紙やフィルム)に印刷する技術。データ加工、インク制御の最適化技術、品質評価技術を併せ持つことが強み。

露光 PE

レーザー、LEDなどの光源と光変調素子を使用し、感光性材料を塗布した基材に直接露光することで、データ加工自由度の高い露光を実現する技術。

重ね合わせ PE

基材とインクジェットヘッドや露光ヘッドを相対的に移動しながら異なる複数のデータを重ねて、精度良く印刷したり露光したりする技術。

画像入力 HD GA PE AS

照明光(可視光、赤外光、レーザー光)、光学設計(レンズ設計、シミュレーション)、撮像素子(ラインセンサー、エリアセンサー)の制御、データ転送を最適化する技術。

画像・図形処理 HD GA PE AS

目的物の認識・検出、分類、計測の前処理として、入力した画像データを加工(階調変換、フィルター適用、ビットマップのベクトル化・図形化)する技術。

認識・検出・分類 HD SPE AS

入力画像を基準画像と比較し、認識・検出・分類を行う技術。プリント基板や半導体基板の配線回路の欠陥検出、塗布ムラ検出、自動車部品の外観検査などに利用。

最先端がある、 やりたい事は ぜんぶやればいい。

創業の精神「思考展開」を礎に、
事業の発展に挑み続けてきたSCREENグループ。
7つの会社それぞれに、
やりたい事にチャレンジできる環境と
大きな成長につながる
フィールドが広がっています。

設立年月日

1943年10月11日

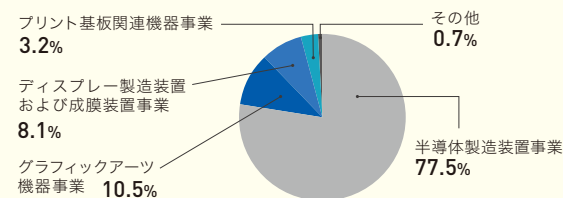
代表者

取締役会長 垣内 永次
取締役社長 最高経営責任者(CEO) 廣江 敏朗

SCREENグループ連結データ (2022年3月31日現在)

【連結売上高】 4,118億円
【資本金】 540億円
【連結従業員数】 5,943名
【連結子会社】 57社(国内26社/海外31社)

事業別の連結売上高比率 (2022年3月期)



国内事業所一覧

【京都府】 本社事業所(京都市上京区)
洛西事業所(ホワイトカンパス洛西)
(京都市伏見区)
久御山事業所(久世郡)
【滋賀県】 野洲事業所(野洲市)
彦根事業所(彦根市)
多賀事業所(犬上郡)
【東京都】 門前仲町事業所(江東区)

R&D・新規事業開発、 グループ会社の経営管理

株式会社SCREEN ホールディングス

生かされているコア技術



次世代技術と新規事業、 グループ体の経営管理で、 SCREENを未来へ導く。



持株会社であるSCREENホールディングスは、5つの事業会社と1つの機能会社から成るSCREENグループを、技術部門と管理部門、大きく2つの側面から支えています。技術部門は、未来を見据えたR&D(研究開発)によって事業会社に向けた次世代技術の開発支援を行い、ライフサイエンスや検査計測をはじめとする新たな事業分野への展開も進めています。管理部門では、グループ7社に対するコーポレート・ガバナンスを担い、グループ経営の基本方針や戦略を決定・承認するとともに、法務やIR、経営企画といった全社的な役割も果たし、グループの一体感醸成を図っています。



Keyword

- 事業会社の次世代技術を開発支援するR&D
- コア技術の応用展開による新規事業開拓
- 各社が力を発揮しやすい環境を整える経営管理

Products 主な製品



半導体製造装置事業

株式会社SCREEN セミコンダクターソリューションズ

生かされているコア技術



半導体の洗浄分野で、 世界シェアNo.1* IoT社会の進化を支える。



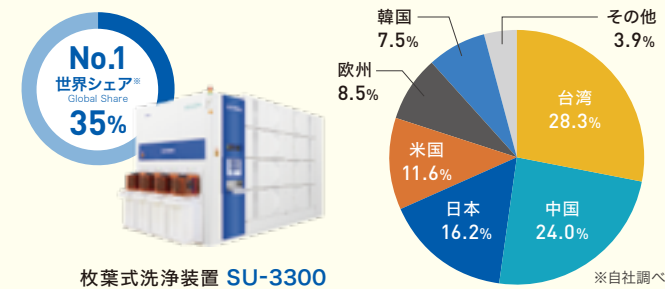
AIや自動運転、ロボット、5Gなど、IoT社会の到来とともに新たな時代に突入した半導体産業。SCREENセミコンダクターソリューションズは、長く培ってきたエッチング、フォトリソグラフィ、画像処理を技術のコアとして、半導体製造プロセスを幅広くカバーする製品群をラインアップしています。特に、半導体の製造に欠かせない「洗浄」プロセスにおいて世界No.1の市場シェアを獲得。最先端デバイス市場に対応するフラッグシップモデルや、IoTデバイス市場に向けてさまざまなサイズ・形状の基板に対応できるFrontierシリーズをはじめ、多様な装置で社会の進化を支えています。



Keyword

- 超微細なゴミも除去。世界シェアNo.1の洗浄装置
- 一つひとつ仕様が異なる、完全オーダーメイドの装置
- 急成長をつづける半導体市場に貢献

Products 主な製品



※Source: Gartner, Market Share: Semiconductor Wafer Fab Equipment, Worldwide, 2021, Bob Johnson et al., 7 April 2022 Chart created by SCREEN based on Gartner Research. Revenue from Shipments of Single-Wafer Processors, worldwide 2021 枚葉式洗浄装置 = Single Wafer Processors

グラフィックアーツ機器事業

株式会社SCREEN グラフィックソリューションズ

生かされているコア技術



先進の画像処理技術とIoT社会への対応。 印刷の先に、 豊かな暮らしを創造する。



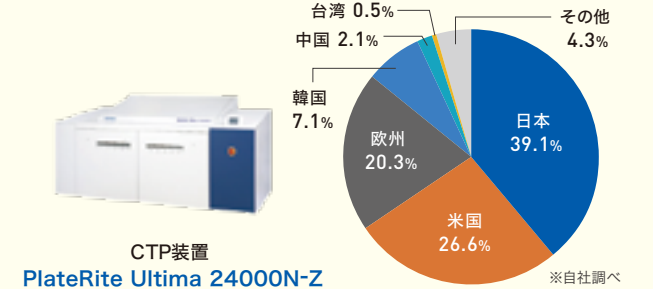
世界トップクラスのシェアのサーマルCTP(オフセット印刷用の刷版を露光出力する装置)や、画像処理技術を駆使した最先端のデジタル印刷機を手がけるSCREENグラフィックソリューションズ。急速に普及が進むIoTによって印刷業界が大きな変革期を迎える中、「必要な時に必要なだけ」印刷するオンデマンドプリント、消費者のニーズや購買履歴に合わせて内容を変えられるパーソナライズ印刷、アプリやSNSと連動したクロスメディアマーケティング、印刷工場のスマートファクトリー化を推進するソリューションプラットフォームなど、印刷関連機器のフィールドでさらなる可能性を広げています。



Keyword

- 創業以来80年、印刷業界で誰もが知る存在
- スマホにも採用されているヒラギノフォント
- 包装(パッケージ)分野への事業拡大

Products 主な製品



ディスプレイ製造装置 および成膜装置事業

株式会社SCREEN ファインテックソリューションズ

生かされているコア技術



ディスプレイの進化を支え、
エネルギー分野にも
チャレンジを広げていく。



テレビやスマートフォンなど、さまざまなデジタル機器に使われているディスプレイ。SCREENファインテックソリューションズは、世界シェアNo.1を誇る「大型TFTアレイ用コーターデベロッパ」をはじめ、ディスプレイの製造工程における各種装置やサービスを提供しています。4K・8Kテレビ、次世代のフレキシブルディスプレイ、高精細スマートフォンなど、ディスプレイの進化とともに歩み、ニーズの変化にも迅速に対応。さらに、成膜技術によるリチウムイオンバッテリーをはじめとしたエネルギー分野へのアプリケーション展開など、新たな市場にもチャレンジしています。



Keyword

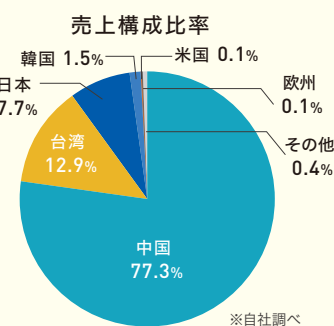
- 世界シェアNo.1に生かされる高精度な塗布技術
- 全長約70m。ジャンボジェット機1台分の巨大装置
- 塗布技術を応用展開し、エネルギー分野に挑戦

Products 主な製品

No.1
世界シェア
Global Share
60%



コーターデベロッパ SK series



※コーターデベロッパシェアは機種群総数に基づき算出。2021年、当社調べ
Market shares are based on total sales for each equipment group. The figures are for 2021 and use SCREEN data.

プリント基板関連機器事業

株式会社SCREEN PEソリューションズ

生かされているコア技術



直接描画装置と検査装置、
2つの主力装置を軸に
さらなる成長を。



5GやAI、IoTの普及とともに、モバイル端末はもちろん自動車などにも搭載が進み、これからも大きな需要拡大が見込まれるプリント基板。より小型化・高密度化が求められ、各基板メーカーでは高精細な描画性と高生産性の両立が急務となっています。SCREEN PEソリューションズは、コア技術である直接描画技術や画像処理技術を駆使し、露光装置や検査装置といったプリント基板製造工程における装置やサービスを提供しています。中でも露光装置は、回路パターンを直接描画する装置として多様な工程で用いられ、ソルダーレジスト露光においては世界シェアNo.1を獲得しています。



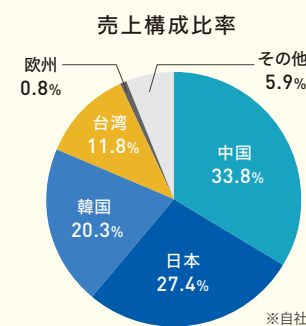
Keyword

- 微細な回路パターンをプリント基板に直接描画
- トップシェアのソルダーレジスト露光
- 独自の画像処理エンジンで検査の精度もUP

Products 主な製品



直接描画装置 Ledia Twin



ICTソリューション事業

株式会社SCREEN アドバンスシステムソリューションズ

生かされているコア技術



装置開発で培われた
ソフトウェア技術を、
ITソリューションに生かす。



SCREENグループはより良いモノづくりのために画像処理や分析といったソフトウェアの開発にも力を注いできました。SCREENアドバンスシステムソリューションズは、そのソフトウェア技術を生かしたシステムソリューション事業を、グループ内外へ展開するために生まれた会社です。装置開発を通して培われたAI、ビッグデータ分析、画像処理などの技術をもとに、モノづくりとソフトウェア技術を融合させてSCREENの装置に新たな価値を加え、AIを活用した解析・分析サービスをグループ外へ供給するなど、専門性の高いソフトウェア技術を駆使したITソリューションを追及しています。



Keyword

- AIを活用した自然言語理解
- 人の言葉を客観的に分析するテキストマイニング
- ARで3次元のルートを示すARルートナビゲーション

Technology 主な技術



AI (自然言語理解)



ARルートナビゲーション

知的財産関連業務

株式会社SCREEN IPソリューションズ

コア技術をはじめ
さまざまな技術を守る

知的財産を守り、戦略を立てる。
企業価値向上と
事業利益の最大化を目指す。



SCREEN IPソリューションズは、知的財産のプロフェッショナル集団として、知的財産領域における調査・分析、出願・権利化、維持・管理、社員教育、実施許諾・譲渡などをワンストップで手がけ、SCREENグループの企業価値向上と成長戦略実現へ貢献しています。昨年、メーカーにおける知的財産戦略の重要性はますます高まり、大きなマーケットチャンスを手にする可能性がある一方で、無益な競争の渦へ巻き込まれてしまうリスクもあります。SCREEN IPソリューションズでは、他メーカーの動向をふまえたうえで望ましい知的財産戦略を提案し、事業利益の最大化を目指しています。



Keyword

- 知的財産のプロフェッショナル集団
- 企業価値と事業利益を高める知的財産戦略
- SCREENの技術力に裏づけされた特許網

Business content 事業内容

知的財産のプロフェッショナルとして、SCREENの
企業価値向上や利益最大化を目指します

SCREEN IPソリューションズ

知的財産に関する
出願や市場調査を委託
知的財産・特許に関する
教育や開発支援を提供

SCREEN

福利厚生・自己啓発制度

社外ビジネススクール派遣

選抜研修の一環として、海外・国内ビジネススクールへの派遣を行う制度です。将来の経営を担う人材を育成するためのMBAの取得や、技術者の育成を目的としたMOTの取得など、自己のキャリアアップにつながる施策を実施しています。

資格取得報奨金制度

会社が指定する資格の取得および検定の合格者に報奨金を支給し、社員の能力開発に対する意欲向上を推進する制度です。また、社内でTOEIC®を受験することができ、受験費用を会社が負担するなど、語学能力の向上も目指します。

独身寮・厚生社宅制度

自宅から会社まで90分以上かかる場合は、独身寮（借り上げマンション）に入ることができます。また、自分でアパートなどを借りる場合は、厚生社宅として法人契約を結び、家賃の70%および礼金など初期費用の一部を会社が負担します。

フレックスタイム制度

工場を含む全部門でフレックスタイム制度を実施しています。月単位の決められた総労働時間の範囲内で、入社・退社の時刻を社員の自己裁量に委ね、ワークライフバランスを図りながら効率的に働くことができます。

平均有給取得率78.9%

年間23日の有給休暇が入社1年目から付与されます。2021年度の社員の平均有給休暇取得日数は18.1日で、取得率は実に78.9%の高水準を誇ります。これは厚生労働省の発表による、2020年度に勤労者が取得した有給休暇の平均日数は10.1日、取得率56.6%と比較しても高水準となっています。

育児関連制度

●育児休職制度

満1歳に満たない子どもがいる場合は、最大2年まで育児休職を取得できます。また、早期に復職した社員には補助金の給付を行っています。また、育児休職者向けサービスも充実しており、出産・育児に関する専門機関への24時間電話相談、オンライン講座を介した自己啓発支援、SNSや掲示板などのコミュニティを活用いただけます。

●育児短時間勤務制度

育児休職からの復職後は、子どもが小学校6年生になるまで1日最大2時間、勤務時間を短縮することができます。

その他さまざまな制度があり、すべての社員が安心して働ける環境を目指しています。



働きやすさを実感するのは
どんなとき？

M.U. 有給休暇とは別で取得できる「子育てサポート休暇※」は、子どもの急病やイベントの時にとても助かっています。平均有給取得率も年々上がっていて、男女ともに有給が取得しやすい雰囲気があります。

M.K. 結婚しても本人が希望すればその旧姓のまま仕事を続けられたり、私の同期でも育児休職を取得する男性社員が何人いたり、会社の柔軟性を感じています。

Y.T. これから自分のワークライフバランスを考えるうえで、制度や周りのサポートが充実している環境は、とても安心感があります。

※子どもの検診や中学校3年生までの学校行事への参加などを目的に、「子育てサポート休暇（特別休暇）」を設ける。



今チャレンジしていることは？

Y.T. 私は今、流体解析シミュレーションを勉強中で、関連するテーマの研修をおすすめしてもらったりなど、上司にも応援していただいています。シミュレーション方法が確立されれば、クリーンルームに入らなくても評価を行えるようになり、働き方の選択肢を増やすことができるのではないかと考えています。

M.K. SCREENは長い歴史を持ちながら、今も立ち止まることなく企業価値を高め、ソリューションクリエーターとして変革に挑もうとしています。その一員として、自主的かつ本質的な経営のサポートを心がけ、実現を支えていきたいです。

M.U. コロナ禍でIT化が加速したこともあり、半導体やディスプレイはこれからの社会に必要な不可欠だと実感しています。復職直後から、重要度の高いプロジェクトのメンバーを任せてもらい、「自分もその役割の一翼を担っているのだ」という思いで、プロジェクトに臨んでいます。



M.K. (左)

SCREENホールディングス
管理系 / 2016年入社
社会学部
社会学卒業

役員秘書を担当。2020年に結婚し、共働きのため、圧力鍋でつくれる時短料理を開拓中。

Y.T. (中央)

SCREEN
ファインテックソリューションズ
応用物理系 / 2019年入社
システム工学研究科
システム工学専攻修了

学生時代は、ディスプレイの駆動素子として使われる「薄膜トランジスタ」を研究。趣味はカフェ巡り。

M.U. (右)

SCREENホールディングス
機械系 / 2008年入社
工学系研究科
環境機能工学専攻修了

産休・育休を経て2020年から復職。現在2人の子どもを育てながら、第一線のプロジェクトで活躍中。

TALK SESSION 2

女性社員 座談会

SCREENで活躍する女性社員は、
どのような環境で、
どんな働き方をしているのか。
3人の女性たちの視点から、
自由に語ってもらいました。

入社したいと思った理由は？

Y.T. もともと電子材料分野を専攻していたので、製造装置メーカーに興味がありました。尊敬する研究室の先輩が内定されたことでSCREENを知り、説明会や座談会に参加。社員の方が楽しそうに仕事の話をされていたのが魅力的でした。

M.U. 微細なモノでコントロールされる世界に魅了され、半導体関連の仕事に携わりたいと思っていました。面接を受けていく中で、社員の方のやわらかい話し方や笑顔に馴染みややすさを感じたことも大きかったです。

M.K. Bobメーカーで働く父の影響で、「モノづくりを通して裏方から社会を支えたい」という想いを持っていました。世界でトップシェアを誇る製品をいくつも持つSCREENであれば、この想いをより広く叶えることができると思いました。最終的な決め手は「人」で、面接を通して自分と真摯に向き合ってくれていると感じました。

今されているお仕事は？

Y.T. ディスプレー製造装置の開発・評価を行っています。毎日のようにクリーンルームに入り、大きな装置や薬品を扱いますがプロセス評価やユーザーテストをしています。最近は一連の業務を一人で任せてもらえることも増え、やりがいを感じています。

M.U. プラズマ処理を行う装置の開発プロジェクトに携わっています。既存のプロセスを大きく変化させるような前例のないチャレンジです。社内でもプラズマ関連の経験を持つ人はごくわずかですが、多分野からメンバーが集まり、量産化に向けて議論と研究を重ねています。

M.K. 私は役員のサポートを行う秘書業務を担っています。取締役会の運営、社内外イベントの企画運営、グループ社員向けの決算説明会の事務局の運営など、幅広く担当しています。

性別やライフステージに関係なく、
チャレンジできる環境がある。



性能で勝負したい。

ものづくりの

心臓部に携わりたい。

今されているお仕事は？

T・N プリント基板製造においてA-Iを用いて工数を削減するシステムの開発に携わっています。A-Iが人を介さず判断する機会を増やすことで工数を減らすというもので、このシステムはSCREEN初のサブスクリプション型契約を採用しており、新たなビジネスモデルとしての可能性を感じています。

M・A A-Iによる生産効率の向上を図った半導体製造装置のシステム開発および、複数のプロジェクトで開発したシステムの出荷対応、現地サポートに取り組んでいます。これらを通じて、お客様にも自社の保守担当にも新たな価値を提供できたと考えています。

T・S 「スマートセンシング」をテーマに掲げた技術開発でリーダーを務めています。装置にはまだ、その内部状況や挙動について見えていない事象が多く、膨大かつ良質なデータをいかに揃えるかというところが肝になります。そのため、ただセンサを付けてデータを取るだけでは見えないものを「見える化」できる、スマートなセンシング技術の開発が求められています。



装置を納めて終わりではなく、新しい付加価値でビジネスを拡げていく。

情報系としての
やりがいとは？

M・A これからはハードウェア、ソフトウェアの力で他社と差別化し、収益化を図る時代になると思います。SCREENにおいても、この分野の伸び代はまだ大きく、自分のアイデア次第で活躍できる機会がたくさんあります。ただ装置を納めて終わりではなく、さまざまな分野、業界、お客様と一緒に考えてながら、収益につながるビジネスプランを考えていけたらと考えています。

T・N SCREENには自分たちが手がけた装置があり、その先にお客様とも直接関わることができます。技術面だけでなく、開発フローや契約方法についても会話をする機会があります。ビジネスに目を向けながらシステムを構築していく経験は、これからのキャリアにも影響が大きいと思います。

T・S M・AさんやT・Nさんの言う通りで、自分たちのアイデア次第で、さまざまな独自の価値を生み出すチャンスが眠っていると思います。今はどの業界でも情報技術の重要性が増していますが、たとえば顔認識などの一般的に入手しやすいデータと違い、装置のデータは装置メーカーしか入手できません。そのデータをどう活用できるかは自分次第。今日の前にあるチャンスを生かして、新たな技術・サービスの開発に貢献していきたいですね。



なぜ製造業、そしてSCREENに興味を持ちましたか？

T・N 最終的に「モノ」があることを大切にしていたので、自ずとメーカーを志望していました。その中でもSCREENは、半導体やディスプレイをはじめ世の中のあらゆるジャンルと関係していて、その「心臓部に携われる」というところに大きなインパクトを受けました。

M・A 家電量販店で、性能ではなく見た目やブランドにお客様が左右される場面を目にして、Bobメーカーに入って、「性能で勝負したい」と思いました。メーカーであれば情報系に限らず、いろいろなジャンルの方と関われることも魅力に感じました。そして、SCREENは面接の雰囲気も良かった。どこかまったりしているというか(笑)

T・S 私は研究を通じた、ものづくりの楽しさが就職活動のベースになり、そこから半導体の業界への興味につながり、SCREENの志望へとつながりました。

学生のみなさんに
メッセージを一言！

M・A 情報系という同じ専門性を持つ人たちが固まって働いているようなイメージがあるかもしれませんが、私たちは「チーム」として機械や電気、プロセス設計など、さまざまな分野のメンバーとプロジェクトを進めています。分野の垣根なく、人との関わりを積極的に生かして、多くのことを身につけてください。

T・S いろいろな意見を取り入れて、自分の可能性を広げてもらえたらと思います。最近では、オンライン会議も一気に定着したおかげで、別の勤務地の人にもますます気軽に「ちょっとお話を聞かせてください」と呼びかけ、装置についての情報を集めたりしています(笑)

TALK SESSION 1

メーカーだからこそ、今、活躍のチャンスがある。

情報系社員座談会

SCREENで働く「情報系」の社員は、どのような人たちなのか？
IT系のエンジニアとの違いや、
そもそも製造業に興味を持ったきっかけは？
今の仕事とその実態に迫ってみました。

T.S.
SCREENホールディングス
電気・電子系 / 2004年入社
工学部
電子情報工学科卒業
情報だけでなく、材料・物性から電気・電子まで、幅広い分野を学ぶ。研究テーマは物性寄り、プラズマCVD法を用いたカーボンナノチューブの作製。

M.A.
SCREEN
セミコンダクターソリューションズ
情報系 / 2009年入社
工学部
工学系研究科情報工学専攻修了
磁気インク文字を光学的に読み取る技術など、画像処理を用いた企業との共同研究を経験。同じ研究室の先輩がSCREENに入社し、OB訪問で興味を持つ。

T.N.
SCREEN
アドバンスシステムソリューションズ
情報系 / 2013年入社
工学部
工学系研究科情報工学専攻修了
理論的なアルゴリズムを研究。研究内容そのものは仕事に直結していないもの、分からないことを自分で調べ、検証する姿勢は今も仕事に役立っている。

将来を見据えた特許網の構築が、
企業価値を高めていく。



コア技術を守るだけでなく、
知財戦略を立てられる人に。

特許権を取得するまで、出願から数年かかります。その過程で、類似した技術が世の中ですでに知られているという理由により、特許庁の審査官から出願を拒絶されることもあり、公知技術との違いを明示することが求められます。自社技術の独自性や有利な効果を、どのように説明すればよいのか。自社技術と公知技術を隅々まで照らし合わせ、文章を何度も練り直します。自分が関わった仕事で初めて特許権を取得できたのは、入社1年目の秋。技術者とその技術を守るこの仕事の価値を実感し、胸が熱くなりました。特許は、自社の技術を守るだけでなく、攻めの知財戦略を立てることもできます。たとえば、保有する特許を体系化してみることで、その会社の強みや弱みとなる領域を可視化することができます。自社の企業価値を高める知財戦略を、自分から積極的に提案していきたいです。



株式会社 SCREEN
IPソリューションズ
Y.S.
機械系/2019年入社
工学研究科
機械系専攻修了

CHALLENGE STORY

06

AI・データ分析
エンジニア

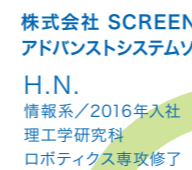
ビッグデータ分析、IoT、AI、画像処理などのIT技術を用いて、装置や周辺システム、さらにサービスの分野におけるソフトウェア開発を行っています。

自分たちの育てたサービスが、
日常の景色を変える。
そんな未来を、夢見ている。



一度の失敗で諦めていたら、
このAR技術は世に出なかった。

複雑に入り組んだ駅構内でも、道に迷う人がいなくなる。自分たちの開発したサービスが、日常の景色を変えていく。そんな未来を夢見て臨んだのが、ARナビゲーションアプリの開発です。ナビには位置精度が必要で、実際の駅を1日に3〜4万歩ほど歩いて検証したこともあります。新方式のARナビに手応えを感じ、意気揚々とつくり上げたものの、特定の環境で位置精度が悪くなるという課題に直面。駅ナビのプロジェクトは失敗に終わりました。現実には、甘くない。反省と同時に、本当にユーザーの役に立つものをつくるには泥臭い過程も必要だと学びました。そして今年、ナビで培ったAR技術をフォークリフトの位置を累積する測位サービスに応用し、リリースを果たしました。世に出たサービスを大切に育てながら、自分もさらに成長していきたいです。



株式会社 SCREEN
アドバンスシステムソリューションズ
H.N.
情報系/2016年入社
理工学研究科
ロボティクス専攻修了

CHALLENGE STORY

07

知的財産管理

自社の技術を守り、企業価値の向上や事業利益の最大化を図ります。知的財産の調査・分析から権利化、その管理・維持まで担います。

04

電気設計

装置全体の構想設計から各部位の機能設計まで、さまざまな設計を担い、製品の品質を支える仕事。安全性にも配慮して、部品の選定や配線の検討を行います。

完璧には、すぐたどり着けない。だからずっと追究できる。

尽きることのない私のチャレンジは、入社2年目に新機能の開発と製品への実装を任せられた日から始まりました。「装置を自分色にカスタマイズしたい」と夢見ていた私にとって、まさにやりたかった仕事。メンバーと頭を悩ませながら、目標の達成に向けて、何度も試行錯誤を繰り返しました。その経験を通して感じたのは、「はじめから完璧なものができないからこそ、やりたい事がどんどん生まれていく」という感覚です。次々と生まれる課題に対して、自分には無かった知識を学ぶことで、「こういう機能があったらどうだろう」という構想が生まれてくる。その実現のために、また知識を広げていく。やりたい事の中に、またやりたい事が見つかるという際限のない拡大を楽しんでいます。ここでは、想像するのも追究するのも、ぜんぶ自由です。



やりたい事の中に、
また新しく、やりたい事が見つかる。
楽しみは際限なく広がっていく。



株式会社 SCREEN
ファインテックソリューションズ
Y.J.
電気系 / 2012年入社
理工学研究科
電気電子工学専攻修了

05

機械設計

装置仕様や機構の検討から、機械要素の評価まで、装置の要となる仕事を担います。3DCADも駆使して製品の3Dモデルや図面の作成にあたります。

光学系について学ぶ過程が、
そのまま自身の成長に。

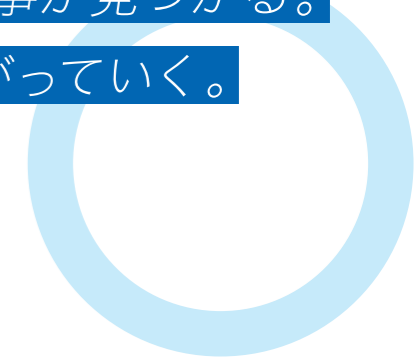
入社2年目、それまでほぼ知識を持たなかった「光学系」に関する設計を任せられました。会議で聞いた用語を一つひとつメモして調べるところからのスタート。評価で想定していたよりも多くの調整が必要になったり、照明設計の組立て調整に問題があったり、さまざまな失敗を経験。自分で評価項目を洗い出し、効率的な仕事の進め方を考えながら開発と向き合い続け、ついには担当した装置をスケジュール通りにリリースすることができました。今、チャレンジしているのは、身につけた光学系の知見を生かした付加価値機能の開発です。自ら仕様を考えてプロジェクト化を打診したところ、機能性や顧客ニーズが認められ20人ほどのチームが発足。分野を越えて多くの方とコミュニケーションを取りながら、大きな責任感を持ってこの開発に臨んでいます。



ゼロから学んだ光学系。
今では、付加価値機能の開発を
リードしている自分がある。



株式会社 SCREEN
PEソリューションズ
K.T.
機械系 / 2017年入社
工学部
機械工学科卒業



CHALLENGE STORY

03

プロセスエンジニア

お客様の求める品質や競合他社に負けない品質を目指して、製品のコアとなる印刷プロセスの開発や評価を行います。

準備が評価につながり、
自信につながっていく。

事前準備の大切さを痛感したのは、入社1年目の評価報告会。根拠や理論の詰め方が不十分だったために、いただいた質問や指摘に答えられませんでした。そこから、一つひとつの分析やデータの解析を大事にしながら評価を進め、これまでにない高い印刷品質のプロセスを開発することができました。さらに、2年目でいただいたチャンスがSCREENグループ全体で開催される技術発表会「フロンティアゲート」でのプレゼンテーション。私の入社前から続くプロジェクトについての発表だったため、背景にある仕事の全体像を理解しようと営業部門の方にも話を伺いました。発表内容を分かりやすく伝えることにも力を注ぎ、資料に手を加える度に、上司にも十分すぎるくらい確認をお願いしました。納得できるまで準備を重ねて迎えた当日。全社に中継され、社長も目の前にいらっしゃる大舞台。とても緊張しましたが、2位という評価をいただくことができ、自信につながりました。



株式会社 SCREEN
グラフィックソリューションズ
M.K.
化学系/2019年入社
理工学研究科
応用化学専攻修了

入社2年目で立たせてもらった大舞台。

やり切れたのは、1年目の失敗があったから。



販売戦略の大局を見据え、
自分から考え、人に働きかけていく。

CHALLENGE STORY

02

営業

装置をただ販売するだけでなく、お客様への装置仕様の説明や価格の交渉、納品までのプロジェクト管理、出荷後の改善対応まで、幅広い業務を担います。

数字の背景を理解すれば、
行動を変えていける。

入社以来、中国向けの半導体製造装置の販売を担当しています。初めて見積もりを任せてもらったとき、過去の見積もりを表面的に真似ようとしてしまい、「見積もりには設計ロジックがあり、一つひとつの商談にはその数字に込められた意味や背景がある」ということを上司から教わりました。それ以来、「自分で考える」という意識を強く持つようになり、現地法人ともより良好な関係を築けるよう、行動を見直していききました。次第にパートナーとしての一体感が生まれ、価格交渉やお客様への提案などもスムーズに行えるようになっていきました。近頃、普段は厳しい技術者の方々に「優秀な営業だと思う」という、うれしい言葉をいただきました。自分から周りに働きかけることで、全体の販売戦略を見渡せる大局的な視点が身につけてきたと感じています。



株式会社 SCREEN
セミコンダクターソリューションズ
R.C.
文系/2019年入社
経営学研究科
経営学専攻修了



株式会社 SCREEN
ホールディングス
K.N.
管理系 / 2009年入社
外国語学部
英米語学科卒業

迷ったら、絶対やる。この自分ルールに従ってチャレンジしたのが、人事制度改革、人事システムの構築、昇格審査のオンライン化という複数プロジェクトの同時遂行でした。チームをマネジメントした経験もほとんど無い状態で、リーダーを兼務。一人では抱えきれないほどの膨大な仕事を、どのようにメンバーに任せるのかという問題に直面しました。そのとき大切にしたのは、対話を重ねてメンバー自身の考えを引き出すこと。チームとしての目的や方向性、優先順位を常に意識しながらも、一人ひとりの個性を生かし仕事を任せていきました。すべてのプロジェクトをやり遂げる頃、チームメンバーに対して周囲から「あの人が成長したね」という声が聞こえてきました。その声は自分事のようにうれしく、マネジメントへの信念を強固なものにしてくれた体験でした。

メンバーの成長に、
喜びを感じる自分がいた。

CHALLENGE STORY

01

管理部門

総務・人事などのグループ全体の管理、マーケティング、資材調達・工場総務などの製造・生産関連の管理を行います。

やるか、やらないかで悩むより、
「どうすればできるか」。
自分を追い込み、活路を拓いていく。



やりたい事は
ぜんぶやればいい。

失敗してもいい。初めての事に挑もう。
昨日とは違う事を試そう。
まだ誰もやってない事を見つけよう。
そうやって自分自身を成長させてきた人が、
SCREENにはたくさんいるから。
私たちは、あなたの挑戦をリスペクトします。